

【食品健康学科】

<<前期>>

1. 平成 24 年度前期 授業評価アンケート実施科目

教員名	科目名	学年	回答者数
柏田雅徳	食品開発実習Ⅱ	3	22
山田光子	薬理学	3	22
寺原典彦	食品基礎実験	1	27
外山英男	フードスペシャリスト論	1	29
紺谷靖英	微生物学	1	33
中瀬昌之	農産物利用学	3	23
		合計	156

(参考)平成 23 年度前期 授業評価アンケート実施科目

教員名	科目名	学年	回答者数
柏田雅徳	食品開発実習Ⅱ	3	14
山田光子	薬理学	3	14
寺原典彦	食品学実験Ⅰ	2	16
外山英男	フードスペシャリスト論	1	29
紺谷靖英	微生物学	1	40
中瀬昌之	食品科学概論	1	26
		合計	139

(参考)平成 23 年度後期 授業評価アンケート実施科目

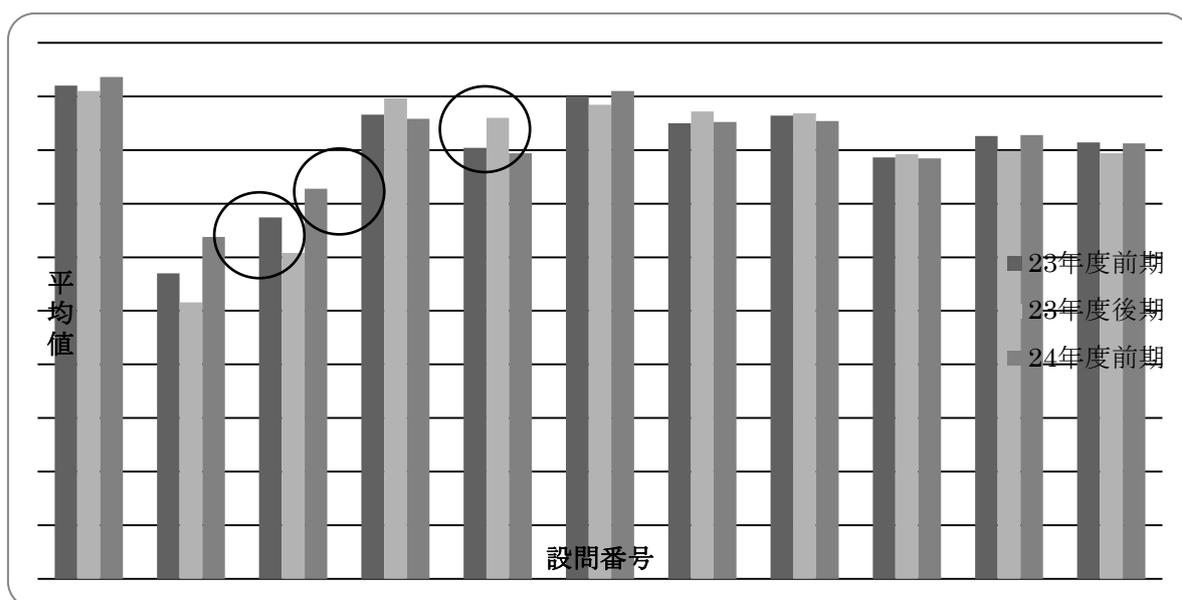
教員名	科目名	学年	回答者数
柏田雅徳	食品開発実習Ⅰ	2	18
山田光子	生理学	1	28
寺原典彦	食品機能学	2	18
紺谷靖英	健康科学	2	28
中瀬昌之	食品学Ⅱ	2	21
		合計	113

2. 平成 24 年度前期 アンケート結果

設問番号	回答欄					回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1		
①	118	27	10	1	0	156	4.68
②	25	28	64	29	10	156	3.19
③	33	51	56	10	4	154	3.64
④	76	58	16	4	2	156	4.29
⑤	66	40	32	15	3	156	3.97
⑥	102	38	13	2	0	155	4.55
⑦	75	53	22	5	1	156	4.26
⑧	75	57	18	3	3	156	4.27
⑨	49	61	32	12	2	156	3.92
⑩	67	57	24	3	5	156	4.14
⑪	57	63	28	4	4	156	4.06

(未回答 2)

(無効回答
1)



各学期のアンケート結果

設問 1. 私はこの授業によく出席した。

平均値 4.68(23 年度前期 4.60, 後期 4.55)で概ね良好である。一方、回答番号 3 以下の割合が約 7%存在する。引き続き学科教員間で学生の出欠状況の情報共有を行い、早い段階で怠学者の抽出を行い、指導教員を中心に対応していくことが重要である。

設問 2. 私は授業内容について質問や発言をした。

平均値 3.19 で、これまでの授業評価アンケートの結果と同様に、設問中最も低い。しかし、23 年度前期の平均値 2.85 および 23 年度後期の平均値 2.58 と比較して改善傾向にある。各教員が質問可能な時間帯を設けたり、学生が自主的に質問しやすい雰囲気作りをしたりするなど双方向性の授業形態に向けて努力した成果が表れていると考えられる。

設問 3. 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)。

平均値が 3.64 で 23 年度前期(3.37)および後期(3.04)と比較して上昇した。特に、回答番号 2 以下の割合が昨年度は 30%近くであったのが今回は 10%未満に減少した。学生に自学自習の習慣を身に付けてきたことの表れであると期待できる。

設問 4・5・6・7・8 は教員の授業実施方法に関する質問である。

平均値が 3.97－4.55 と概ね良好であり、同一科目が対象ではないが、昨年度の平均値をほぼ維持している。設問 5「教員の板書は見やすかった」に関しては、昨年度の後期(平均値 4.30)と比較して低下し(3.97)、設問番号 1 及び 2 の回答数が増加した(全体の約 12%)。これは、昨年度のアンケート実施時とは異なる授業科目及び担当者を対象としたためと考えられる。

設問 9. 私はこの授業内容を理解できた。

平均値が 3.92 と昨年度の平均値(前期 3.93, 後期 3.96)とほぼ同様の良好な結果であった。しかしながら、回答番号 3 以下の回答が約 30%見られた。授業レベルを落とさずに学生の理解度を増すための教員側の努力が重要である。

設問 10. 将来役に立つと感じた。

平均値 4.14 であり、昨年度の平均値(前期 4.13, 後期 3.99)とほぼ同等の、概ね良好な結果であった。学生の立場から見て、学科で設定している科目群及び授業内容は概ね適切であると考えられる。

設問 11. 満足度

平均値が 4.06 で昨年度の平均値(前期 4.07, 後期 3.97)とほぼ同様の良好な結果であった。学生の立場から見て、学科で設定している科目群及び授業内容は概ね適切であると考えられる。

<<後期>>

1. 平成 24 年度後期 授業評価アンケート実施科目

教員名	科目名	学年
柏田雅徳	食品製造学	2
金松澄雄	ニュートリゲノミクス	3
山田光子	生理学	1
寺原典彦	食品分析学	1
外山英男	生物学Ⅱ	1
紺谷靖英	栄養学Ⅱ	3
中瀬昌之	食品学Ⅱ	2

教員 7 名 回答数 187

(参考)平成 23 年度前期 授業評価アンケート実施科目

教員名	科目名	学年
柏田雅徳	食品開発実習Ⅱ	3
山田光子	薬理学	3
寺原典彦	食品学実験Ⅰ	2
外山英男	フードスペシャリスト論	1
紺谷靖英	微生物学	1
中瀬昌之	食品科学概論	1

教員 6 名 回答数 139

(参考)平成 23 年度後期 授業評価アンケート実施科目

教員名	科目名	学年
柏田雅徳	食品開発実習Ⅰ	2
山田光子	生理学	1
寺原典彦	食品機能学	2
紺谷靖英	健康科学	2
中瀬昌之	食品学Ⅱ	2

教員 5 名 回答数 113

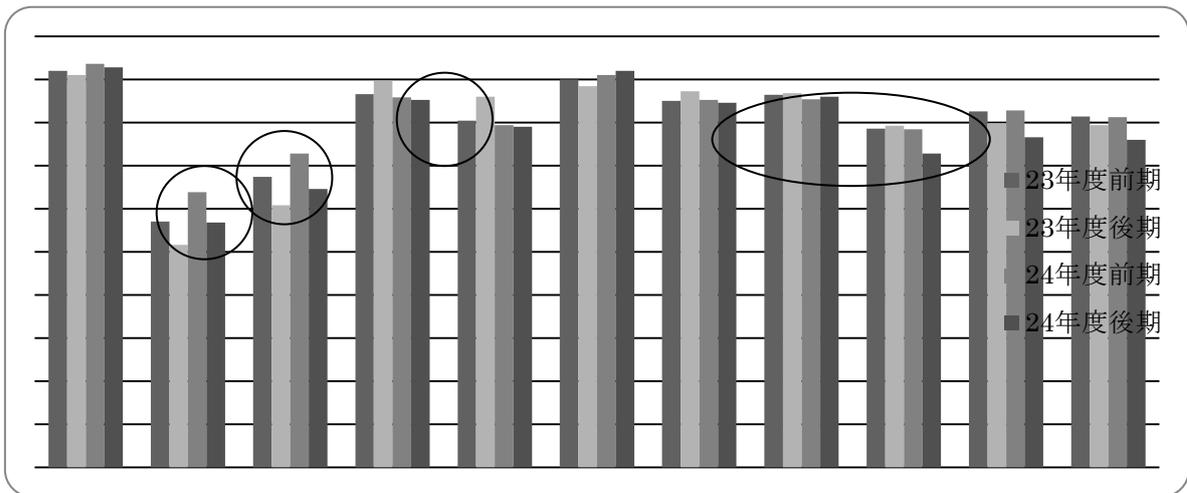
(参考)平成 24 年度前期 授業評価アンケート実施科目

教員名	科目名	学年
柏田雅徳	食品開発実習Ⅱ	3
山田光子	薬理学	3
寺原典彦	食品基礎実験	1
外山英男	フードスペシャリスト論	1
紺谷靖英	微生物学	1
中瀬昌之	農産物利用学	3

教員 6 名 回答数 156

2. 平成 24 年度後期 アンケート結果

設問番号	回答欄					回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1		
①	132	44	10	1	0	187	4.64
②	14	21	96	34	22	187	2.84
③	21	44	86	26	9	186	3.23 (未回答 1)
④	86	68	28	5	0	187	4.26
⑤	74	50	45	16	2	187	3.95
⑥	126	48	13	0	0	187	4.60
⑦	84	70	24	7	1	186	4.23 (未回答 1)
⑧	86	73	26	2	0	187	4.30
⑨	30	78	64	12	3	187	3.64
⑩	52	72	49	8	6	187	3.83
⑪	44	72	61	9	1	187	3.80



各学期のアンケート結果

設問 1. 私はこの授業によく出席した。

平均値 4.64(23 年度後期 4.55, 24 年度前期 4.68)で概ね良好である。一方、回答番号 3 以下の割合が約 6%存在する。引き続き学科教員間で学生の出欠状況の情報共有を行い、早い段階で怠学者の抽出を行い、指導教員を中心に対応していくことが重要である。

設問 2. 私は授業内容について質問や発言をした。

平均値 2.84 で、これまでの授業評価アンケートの結果と同様に、設問中最も低い。24 年度前期には平均値が 3 を上回り改善傾向が見られていたが、今回は再び 23 年度までの平均値とほぼ等しくなった。理由としては、①今回からアンケート実施を講義科目のみに限定したことにより、学生の発言の機会が少なかったこと、②対象教員数が増加したこと、などが挙げられる。各教員が質問可能な時間帯を設けたり、学生が自主的に質問しやすい雰囲気作りをしたりするなど双方向性の授業形態に向けて努力していく必要がある。

設問 3. 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)。

平均値が 3.23 で 24 年度前期(3.64)を下回った。特に、回答番号 2 以下の割合が約 20%となっており、設問 2 と同様の理由が考えられる。より多くの学生に自学自習の習慣を身に付けさせるための具体的な指導を行うことが今後の課題である。

設問 4・5・6・7・8 は教員の授業実施方法に関する質問である。

平均値が 3.95－4.60 と概ね良好であり、同一科目が対象ではないが、昨年度の平均値をほぼ維持している。設問 5「教員の板書は見やすかった」に関しては、23 年度の後期にはかなり高い平均値が得られていたが(平均値 4.30)、回答番号 1 及び 2 の回答が約 10%あり、授業科目によっては改善が必要なケースがあると考えられる。

設問 9. 私はこの授業内容を理解できた。

平均値が 3.64 と前期までの平均値 (3.9 前後) と比較し低下した。回答番号 3 以下の回答が約 40% となっており、授業科目によっては学生にとって理解が困難な内容もあるかもしれないが、授業レベルを落とさずに学生の理解度を増すための教員側の努力が重要である。

設問 10. 将来役に立つと感じた。

平均値 3.83 であり、前期までの平均値 (4.0-4.1) より若干低下したものの、学生の立場から見て、学科で設定している科目群及び授業内容は概ね適切であると考えられる。

設問 11. 満足度

平均値が 3.80 で前期までの平均値 (4.0-4.1) より若干低下したものの、授業内容は概ね適切であると考えられる。学生の立場から見て、授業満足度が上がるように更なる努力が必要である。